



ソディック (6143)

中期成長は持続可能

2026 年 8 月 18 日

2026 年 12 月期 2Q 決算アップデート

- 収益モメンタム持続の公算大 – ソディックの 2026 年 12 月期上期決算は予想を上回り、通期会社予想が上方修正された。高い受注確度と AI データセンター向けの構造的投資需要により、同社は安定した堅調な中期見通しへの自信を強めているようだ。当社は、主に中華圏を牽引役とする工作機械事業と産業機械事業の成長持続を見込み、業績予想を上方修正した。生産能力への追加投資は必要になるとみられるが、売上拡大と高い工場稼働率の維持が、10%超の営業利益率の持続的達成に必要な営業レバレッジをもたらすと予想する。

2029 年 12 月期目標はすでに射程圏内

- 中期目標上振れの可能性 – 2026 年 12 月期通期会社予想の営業利益は 92 億円、営業利益率は 9.5% で、すでに 2029 年 12 月期中期目標の 100 億円と 10.0% に迫っている。中期経営計画は終了まであと 3 年残っており、足元の好調な業績推移を考えると、これらの目標を上振れる可能性はあるだろう。現在の需要はかつてないほど活発な投資により押し上げられてはいるが、根底にある構造的需要も引き続き旺盛と当社は考えている。
- バリュエーション – 修正後の当社予想に基づく、2027 年 12 月期当社予想 PER は 10.3 倍、同総還元利回りは 6.4% (総還元性向の前提は 70%)、2025 年 12 月期実績 PBR は 1.0 倍。資本は引き続き充実しており、自己資本比率は 59.5%。

株価: 1,788 円 時価総額: 980 億円



出所: ブルームバーク

Price Performance

	年初来	1M	3M	12M
絶対 (%)	+86.6	+5.0	+5.9	+110.5
相対 (%)	+53.7	-0.6	-2.1	+58.7

セクター

工作機械
機械

株式データ

株価 (円)	1,788
時価総額 (10 億円)	98.0
時価総額 (100 万ドル)	613.3
52 週レンジ (円)	832-2,130
発行済株式数 (100 万株)	55
日次平均出来高 (100 万ドル)	5.4
浮動株 (%)	79.9
外国人株式保有比率 (%)	20.6
コード	6143
取引所	Tokyo Prime
純有利子負債/自己資本 (倍)	N/A
FFO レバレッジ (倍)	5.3
ブルームバーク 買い ホールド 売り	0 1 0

出所: ブルームバーク

年度末	12/24	12/25	12/26E	12/27E	12/28E
売上高 (10 億円)	73.67	80.57	97.86	110.59	118.02
営業利益 (10 億円)	2.23	4.22	9.33	11.21	12.43
純利益 (10 億円)	4.12	4.51	7.83	8.78	9.61
EPS (円)	81.06	89.19	154.69	173.54	189.79
1 株当たり配当 (円)	29.00	29.00	35.00	36.00	37.00
売上高伸び率 (%)	+9.7	+9.4	+21.5	+13.0	+6.7
営業利益成長率 (%)	N/A	+89.4	+120.9	+20.1	+11.0
純利益成長率 (%)	N/A	+9.7	+73.5	+12.2	+9.4
EPS 成長率 (%)	N/A	+10.0	+73.4	+12.2	+9.4
PER (倍)	22.1	20.0	11.6	10.3	9.4
EV/EBITDA (倍)	18.2	12.9	6.1	5.2	4.7
EV/売上高 (倍)	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7
PBR (倍)	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0
ROE (%)	5.1	5.2	8.5	9.1	9.6
ROCE (%)	2.0	3.6	7.7	9.1	9.8
FCF 利回り (%)	7.0	5.0	14.8	12.2	11.7
配当利回り (%)	1.6	1.6	2.0	2.0	2.1
総還元利回り (%)	1.6	1.6	5.7	6.4	7.0

出所: 会社データ、アストリス・アドバイザリー (推定)

事業概要

ソディックは工作機械メーカーで、放電加工機のグローバルな市場リーダー。金属 3D プリンタ、射出成形機、食品加工機を開発・製造している。

アストリス・サステナビリティ ESG レーティング

	Amber	Green
Red		
FY12/2022		
FY12/2021		
参考格付け		
MSCI	N/A	
Sustainalytics	N/A	
Refinitiv	N/A	
S&P Global	32.0	
Bloomberg	N/A	

イベント予定日

2025 年 11 月: 26 年 12 月期第 3 四半期決算

電話: +81 3 6868 8797

E メール: Corporateresearch@astrisadvisory.com

本レポートは同社から委託され、支払いを受けて作成されている。

直近の業績

2026 年 12 月期第 1~2 四半期決算

売上、利益ともに成長が加速

主要財務データ

(10 億円)	2025 年 12 月期 第 1~2 四半期	2026 年 12 月期 第 1~2 四半期	前年比 伸び率 (%)
売上高	37.98	46.92	+23.5
売上総利益 (総損失)	13.34	17.62	+32.0
売上総利益率	35.1	37.5	
営業利益 (損失)	2.15	4.45	+107.0
営業利益率	5.7	9.5	
経常利益	1.54	5.53	+259.7
親会社株主に帰属する当期純利益	1.09	3.98	+265.7
為替レート:			
米ドル/円	148.40	158.29	+6.7
ユーロ/円	162.25	184.55	+13.7
中国人民幣/円	20.45	23.04	+12.7
タイバーツ/円	4.43	4.93	+11.3

出所: 会社データ

工作機械事業と産業機械事業が前年同期比増益を牽引

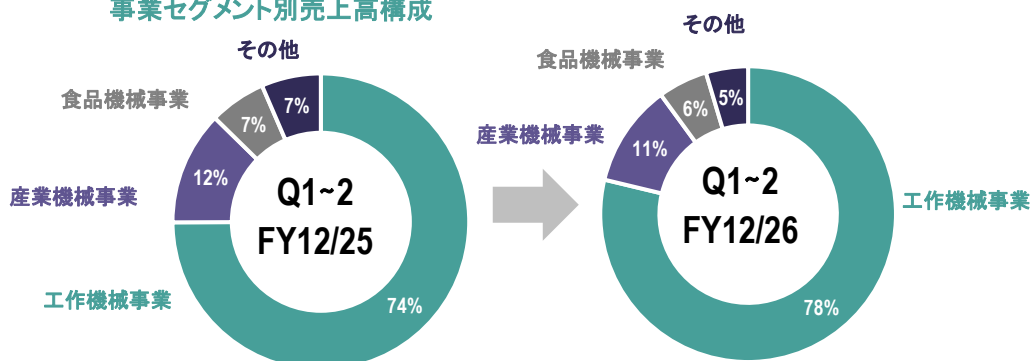
事業セグメント別データ(セグメント間取引消去前)

(10 億円)	2025 年 12 月期 第 1~2 四半期	2026 年 12 月期 第 1~2 四半期	前年比 伸び率 (%)
売上高			
工作機械	28.08	36.59	+30.3
産業機械	4.73	5.22	+10.3
食品機械	2.72	2.68	-1.3
その他	2.46	2.43	-1.0
セグメント利益 (損失)			
工作機械	3.07	5.50	+78.7
産業機械	0.14	0.32	+126.8
食品機械	0.35	0.29	-17.3
その他	0.06	0.01	-78.1
セグメント利益率 (%)			
工作機械	11.0	15.0	
産業機械	3.0	6.2	
食品機械	13.0	10.9	
その他	2.5	0.5	

出所: 会社データ

工作機械事業が引き続き売上の大宗を占める

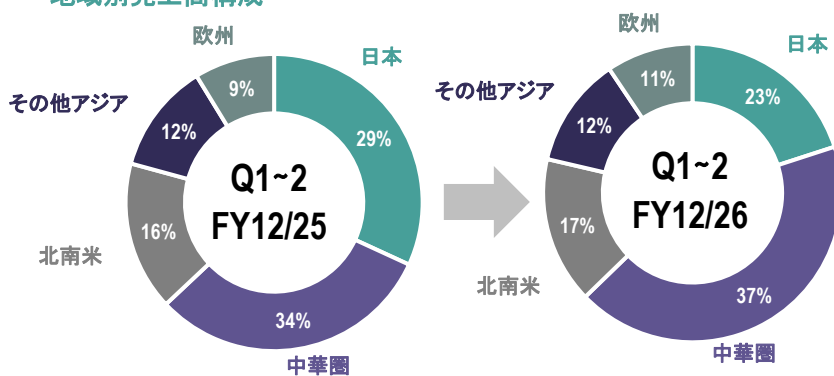
事業セグメント別売上高構成



出所: 会社データ

地域別売上構成比は中国が最大

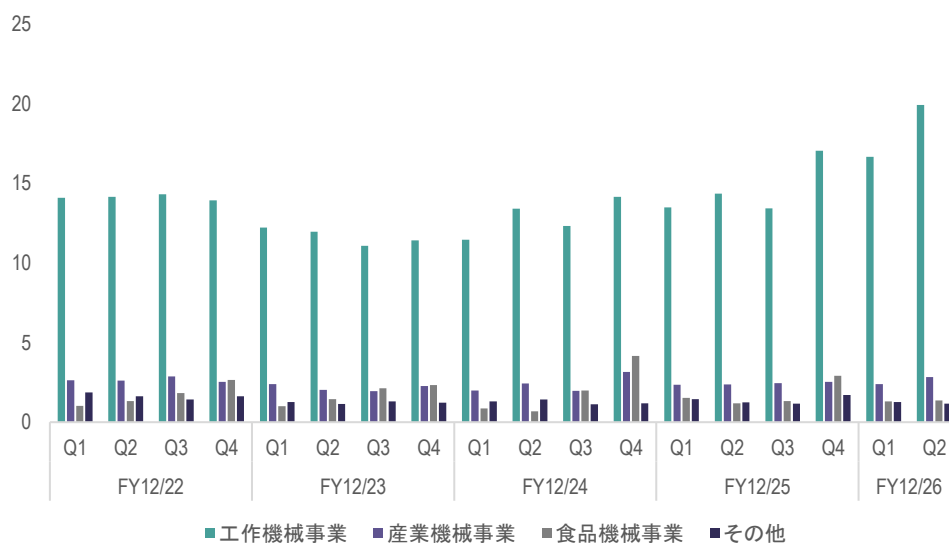
地域別売上高構成



出所: 会社データ

工作機械事業はモメンタムを維持

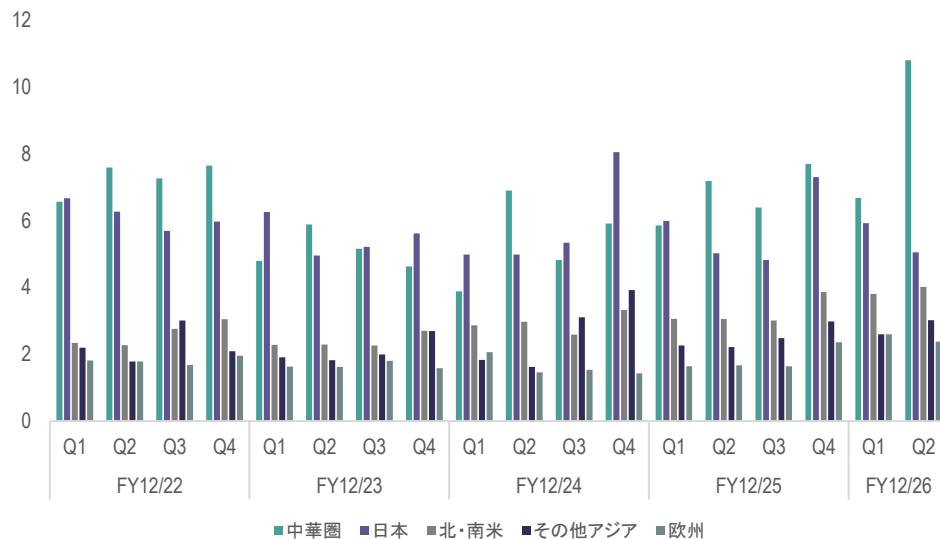
事業セグメント別売上高の四半期別推移 (10 億円)



出所: 会社データ

2026 年 12 月期第 2 四半期以降、中華圏の売上成長が顕著

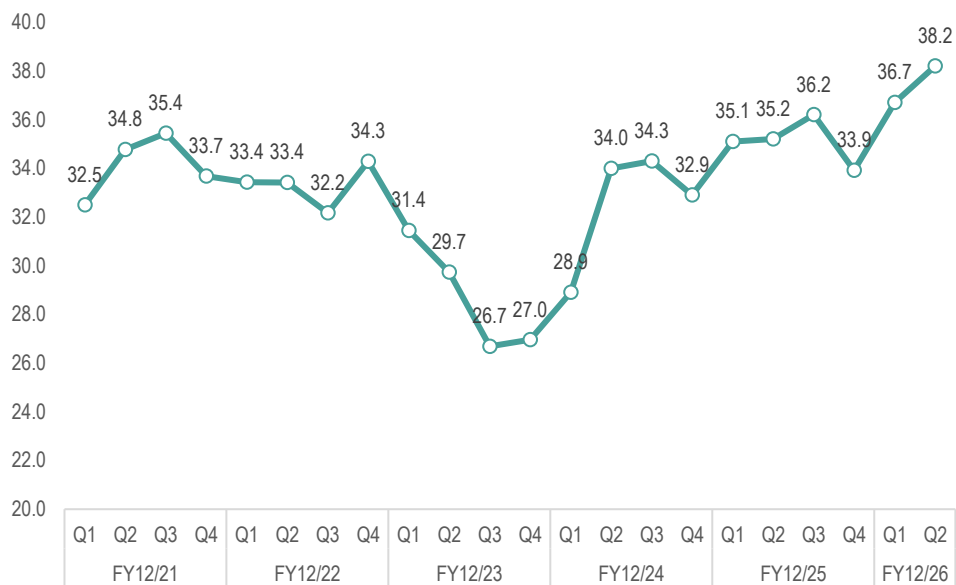
地域別売上高の四半期別推移(10 億円)



出所: 会社データ

四半期売上総利益率は第 2 四半期に過去最高を記録

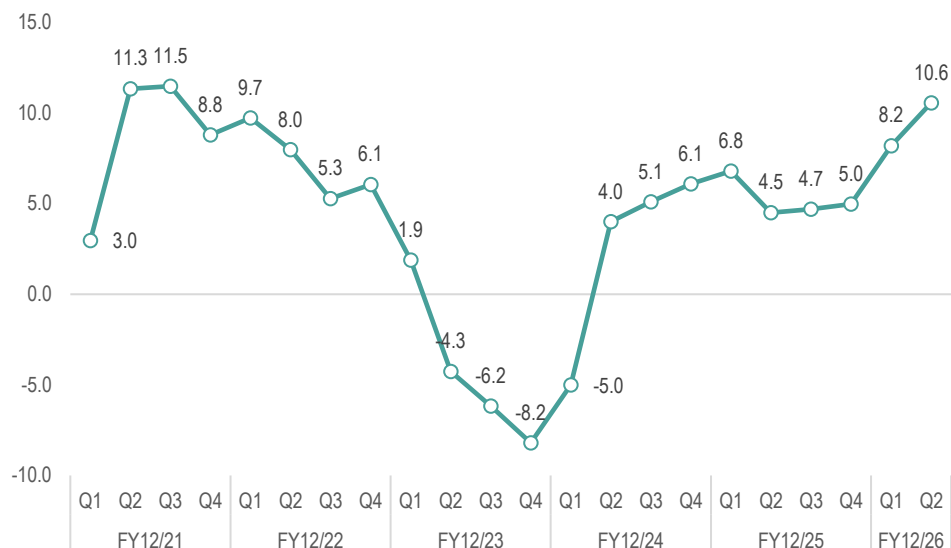
売上総利益率の四半期別推移(%)



出所: 会社データ

営業利益率は中期目標の 10%に到達

営業利益率の四半期別推移(%)



出所: 会社データ

決算ハイライト

ソディックの 2026 年 12 月期上期決算は、売上高(前年同期比+23.5%)と営業利益(同+107.0%)の成長がともに加速し、当社の予想を上回った。最大の注目ポイントは、AI データセンターのインフラ拡張を背景に高い業績ビジビリティが持続しており、中期見通しが明るいことである。当社は以下の理由から、工作機械事業と産業機械事業の底堅い需要が持続するとみている。

- 放電加工機の受注台数は、主力の中華圏の牽引により 9 四半期連続で前年同期比増加している。
- ソディックの精密機械の伸びている需要先は高密度光ファイバーシステムの光コネクタと MT フェルール(超精密多心コネクタ部品)、冷却装置の部品、AI データセンター向け電源設備であり、その重要性は、短期的な設備投資拡大ではなく、構造的需要にある。
- 2026 年 12 月期通期会社予想は上方修正され、業績ビジビリティの高さが裏付けられた。
- 顧客の注文に応えるため、経営陣は生産能力増強と並行して工場生産性改善に注力するとともに、主要原材料を確実に調達するための方策を講じているとみられる。

放電加工機の需要は引き続き堅調で(2026 年 12 月期第 2 四半期の受注台数は前年同期比 15.1%増)、中華圏の受注台数は同 11.6%増加した。生産性の前年同期比向上は、(1)生産数量増加に伴う高い工場稼働率、および(2)価格と売上構成の改善によるもので、その結果、第 2 四半期の売上総利益率は 38.2%に上昇し(2026 年 12 月期第 1 四半は

36.7%、2025 年 12 月期第 4 四半期は 33.9%)、営業利益率は 10.6% (同 8.2%、5.0%) に達した。

工作機械事業では、中華圏での需要が好調だったほか、消耗品(ワイヤ電極など)の売上も拡大した。中華圏以外の地域では、航空宇宙や医療関連の需要が堅調だった。

産業機械事業は、特に日本、中華圏、米国でのデータセンター向け光コネクタの好調な需要により、前年同期比で収益性が改善した。

食品機械事業は上期のセグメント利益が前年同期比 17.3%減少し、唯一やや苦戦を強いられた。製麺設備の需要は国内外で堅調だったが、無菌包装米飯製造装置の販売は前年比減少が続いた。販管費増加と前年の高収益案件の反動減から、利益率は前年同期比で低下した。

放電加工機の受注確度は引き続き高い

2026 年 12 月期第 2 四半期の放電加工機受注台数は前年同期比 15.1%増加した(前四半期比では 10.4%減)。

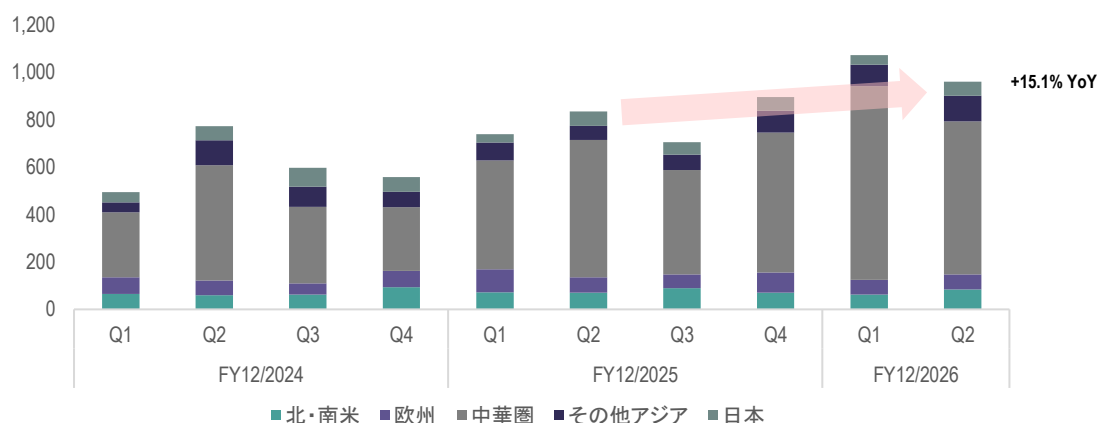
当社は、ソディックがデータセンターのコアインフラ増設や AI 計算資源への長期投資持続による構造的需要拡大の恩恵を享受する好位置にあると引き続き考えている。しかし、業績のジビリティを論じる際には、以下の点を考慮している。

- 中華圏の需要は堅調で、軌道は総じて順調ではあるが、短期的な視界は必ずしも良好ではなく、需要が変動する可能性がある。
- 当社の見解では、データセンター増設と関連の光/ネットワーク設備拡張は依然としてサイクル中盤にある。もはや初期段階ではないとはいえ、依然としてインフラ拡張段階にあり、成熟段階にはまだ達していない。したがって、ソディックの需要はさらに加速する可能性が高い。

受注モメンタムに対するリスクとして、(1)調達コスト上昇により価格が押し上げられ、需要が低下する、(2)納入までのリードタイムが長期化し、売上計上にマイナス影響を与える、の 2 点が挙げられる。

着実な需要モメンタム

放電加工機受注台数の四半期別推移



出所: 会社データ



2026 年 12 月期通期会社予想の修正

ソディックは 2026 年 12 月期通期会社予想を上方修正した。主な修正内容は以下のとおり。

- 工作機械 – 売上高を前回予想比 11.9% 上方修正し、セグメント利益率を 9.7% から 15.1% へ大幅上方修正。これは工場稼働率改善による営業レバレッジ効果を反映したものとみられる。
- 産業機械 – 売上高を前回予想比 9.5% 上方修正したが、セグメント利益は据え置き。
- 食品機械 – 売上高を小幅上方修正した一方、セグメント利益率は下方修正し、事業環境が厳しくなっていることを示唆。
- 全社共通調整額 – 人件費および IT システム費用の増加を反映して小幅上方修正。

工作機械事業が全社利益率の前年比改善に寄与

2026 年 12 月期通期業績会社予想

(10 億円)	25/12 期通期 実績	*26/12 期 通期会社 予想(旧 1)	26/12 期 通期会社 予想(旧 2)	26/12 期 通期会社 予想(新)	前年比伸び 率 (%)
売上高	80.57	81.50	88.50	97.00	+20.4
工作機械	59.15	55.60	64.70	72.40	+22.4
産業機械	9.73	11.70	10.50	11.50	+18.2
食品機械	6.95	8.60	7.70	7.90	+13.6
その他	4.74	5.60	5.60	5.20	+9.6
売上総利益(総損失)	28.21	-	-	-	
売上総利益率	35.0	-	-	-	
営業利益(損失)	4.22	5.30	5.50	9.20	+117.8
営業利益率(%)	5.2	6.5	6.2	9.5	
工作機械	5.68	5.60	6.30	10.90	+91.8
産業機械	0.52	0.90	0.80	0.80	+54.4
食品機械	0.98	1.00	1.00	0.80	-18.5
その他	0.10	0.60	0.40	0.10	-2.0
調整額	(3.06)	(2.80)	(3.00)	(3.40)	N/A
セグメント利益率(%)					
工作機械	9.6	10.1	9.7	15.1	
産業機械	5.3	7.7	7.6	7.0	
食品機械	14.1	11.6	13.0	10.1	
その他	2.2	10.7	7.1	1.9	
経常利益	5.23	5.30	6.00	9.90	+89.3
親会社株主に帰属する当期純利益	4.51	4.00	5.10	7.40	+63.9
ROE (%)	5.2	-	5.6	-	
為替レート:					
米ドル/円	149.61	150.00	155.00	156.00	+4.3
ユーロ/円	169.19	165.00	180.00	182.00	+7.6
中国人民幣元/円	20.79	21.00	22.00	23.20	+11.6
タイバーツ/円	4.56	4.50	5.00	4.90	+7.5

出所: 会社データ

注: *2025 年 2 月に公表。

前回公表の 2026 年 12 月期通期会社予想(表の「旧 2」)は新たに発表された 4 年間の中期経営計画の一部で、計画最終年度の 2029 年 12 月期目標は売上高 1,000 億円、営業利益 100 億円である。しかし、2026 年 12 月期の修正後会社予想がすでにこの目標に迫る水準にあるため、見直しが必要になるとみられる。

修正後の 2026 年 12 月期通期会社予想と上期実績から試算した下期の営業利益率会社予想は、上期比横ばいの 9.5%である。これについて当社は、生産能力増強のため営業費用の拡大が必要になるものの、売上増加と工場稼働率向上により、営業利益率はこの水準を上振れる可能性があると考えている。

修正後の 2026 年 12 月期会社予想に基づき試算した下期の営業利益率会社予想は上期比横ばい

2026 年 12 月期通期会社予想に基づき試算した下期会社予想

(10 億円)	2026 年 12 月期 第 1~2 四半期	前年比 伸び率 (%)	2026 年 12 月期 通期予想と上期 実績から試算し た下期会社予想	前年比 (%)	上期比 (%)
売上高	46.92	+23.5	50.08	+17.5	+6.7
営業利益	4.45	+107.0	4.75	+129.0	+6.7
営業利益率 (%)	9.5		9.5		
経常利益	5.53	+259.7	4.37	+18.3	-21.0
純利益	3.98	+265.7	3.42	横ばい	-14.1

出所: 会社データ

当社の業績予想

当社は 2026 年 12 月期以降のソディックの業績予想を修正した。主な前提は次のとおり。

- 受注確度の高い工作機械事業が主な収益ドライバーになると予想。
- ソディックは 2029 年 12 月期に 10%の営業利益率達成を目指しているが、当社は中期の営業利益率見通しを 10%をやや上回る水準に引き上げた。

当社の業績予想を上方修正

修正後の 2026 年 12 月期通期会社予想とアストリス・アドバイザリーの業績予想

年度末	26/12 期 会社予想 (修正後)	26/12 期 当社予想 (旧)	26/12 期 当社予想 (新)	27/12 期 当社予想 (旧)	27/12 期 当社予想 (新)	28/12 期 当社予想 (旧)	28/12 期 当社予想 (新)
売上高 (10 億円)							
工作機械	72.40	65.62	72.92	70.22	83.85	73.73	89.72
前年比伸び率 (%)	+22.4	+12.5	+25.0	+7.0	+15.0	+5.0	+7.0
産業機械	11.50	10.41	11.68	10.93	12.84	11.48	13.74
前年比伸び率 (%)	+18.2	+7.0	+20.0	+5.0	+10.0	+5.0	+7.0
食品機械	7.90	7.72	7.72	8.33	8.33	9.00	9.00
前年比伸び率 (%)	+13.6	+11.0	+11.0	+8.0	+8.0	+8.0	+8.0
その他	5.20	5.67	5.56	5.78	5.56	5.90	5.56
前年比伸び率 (%)	+9.6	+2.0	-	+2.0	-	+2.0	-
総売上高 (10 億円)	97.00	89.24	97.86	95.26	110.59	100.10	118.02
前年比伸び率 (%)	+20.4	+11.0	+21.5	+6.5	+13.0	+5.1	+6.7
営業利益 (10 億円)	9.20	5.72	9.33	6.15	11.21	6.47	12.43
営業利益率 (%)	9.5	6.4	9.5	6.5	10.1	6.5	10.5
前年比伸び率	+117.8	+36.3	+120.9	+6.8	+20.1	+5.3	+11.0
EBITDA (10 億円)	-	10.23	14.22	10.91	16.74	11.48	18.34
EBITDA 利益率 (%)	-	11.4	14.5	11.5	15.1	11.5	15.5
経常利益 (10 億円)	9.90	6.46	10.03	6.34	11.40	6.67	21.63
前年比伸び率 (%)	+89.3	+23.5	+91.8	-1.8	+13.7	+5.2	+10.8
当期純利益 (10 億円)	7.40	5.04	7.83	4.89	8.78	5.07	9.61
前年比伸び率 (%)	+63.9	+11.7	+73.5	-3.1	+12.2	+3.8	+9.4
FCF (10 億円)	-	9.46	14.52	6.41	12.00	6.25	11.48
FCF 利益率 (%)	-	10.6	14.8	6.7	10.9	6.2	9.7
FCF コンバージョン (%)	-	146.5	144.7	101.2	105.3	93.7	90.9
FCF 利回り (%)	-	9.7	14.8	6.5	12.2	6.4	11.7
為替レート:							
米ドル/円	156.00						
前年同期比 (%)	+4.3						
ユーロ/円	182.00						
前年同期比 (%)	+7.6						
中国人民幣/円	23.20						
前年同期比 (%)	+11.6						
タイバーツ/円	4.90						
前年同期比 (%)	+7.5						

出所: 会社データ、アストリス・アドバイザリー
注: FCF コンバージョンは FCF/税引前利益

会社概要

概要

放電加工機 (EDM)の市場 リーダー

1976 年に創業者の古川利彦氏が設立したソディックは、放電加工機の実験者であり、世界的なリーダーである。EDM は、自動車、スマートフォン、航空宇宙、医療などの分野における精密部品や小型化に対する需要を背景に、金型製造や部品加工に用いられる加工機である。放電加工は、機械による力ではなく電気による放電の熱エネルギーを使って加工対象物から材料を除去する加工方法である。フライス加工や回転などの機械加工では、鋭い内角や特に深い溝など、望ましい切削ができない場合や機械加工が困難な材料に、EDM がよく使用される。

精密マシニングセンタや金属 3D プリンタ、レーザー加工機とともに、射出成形機や食品加工機もソディックの主力製品である。

同社は 1986 年に東京証券取引所に上場した後、1980 年代前半に欧米へ進出し、1994 年には他社に先駆けて中華圏にも進出するなど、グローバルに事業を展開してきた。同社のグローバルネットワークは、主にアジア地域に集中し、日本、中国、タイに生産拠点を置いている。

持続的な成長と 企業価値の向 上に注力

顧客の製造上の問題を解決するための創造力と技術力を持つソディックは、価格リーダーとして競争するのではなく、差別化された付加価値型ソリューションを提供してきた。しかし、経営陣は、持続的な成長を実現し、中長期的な企業価値を高めるためには、広範な事業変革が必要であると考え、古川健一現会長のもと、2020 年 10 月に「変革準備室」を設置した。長期的な成長戦略を実現するためには、従来の「機能別」組織から「事業別」組織へと転換する必要があった。

事業別組織へ の変更

この変革により、機能最適な管理体制から事業全体最適を実現する、製造、販売、サービスの一気通貫の事業管理体制を構築した。競争に勝つため、「機械の単体販売」から、お客様中心のソリューションとサービス事業の進化に注力することにシフトした。この 2 年間は、なかなか成果がでてこなかったが、2022 年 1 月についに機能し始めた。

カスタマーサク セスを目指す

経営陣は変革に意欲的に取り組んでいる。3 つの変革への取り組み、ガバナンス、働き方改革が進行中である。

前向きな変化に 意欲的に取り組 む経営陣

- 価値創造へのシフト - 顧客データを収集し、「市場志向」の製品開発を推進するためのデジタルトランスフォーメーション(DX)の採用。
- 部門横断的な方針 - 複数の事業部門にわたる重要な問題を統合し、緊密な連携と業務の最適化を実現。
- 事業評価 - ハードウェアの売上台数やサービス契約数に基づく従来の評価指標から、企業の成長に合わせた、財務分析に基づく KPI を設定。
- ガバナンス - 取締役会の経営執行業務と監督業務を明確に分離。
- 働き方改革 - 2022 年に「ソディック健康経営宣言」を制定し、社員の心身の健康を最優先事項とし、前向きな職場環境を整備。



社史の概要

年月	詳細
1976 年 8 月	創業者の古川利彦氏が同社を設立
1986 年 2 月	東京証券取引所第二部に上場
1988 年 11 月	タイに初の海外生産拠点を設立
2007 年 3 月	食品機械事業に多角化
2015 年 3 月	東京証券取引所第一部に上場
2018 年 3 月	古川健一氏の代表取締役社長就任
2020 年 10 月	「変革準備室」の設置
2022 年 1 月	企業変革に伴い、工作機械事業本部新設
2022 年 4 月	東京証券取引所のプライム区分に移管
2025 年 8 月	アドバンテッジパートナーズとの事業提携及び資金調達

出所: 会社データ

JGAAPに基づく要約財務諸表

損益計算書 (10 億円)	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
売上高	73.67	80.57	97.86	110.59	118.02
売上原価	49.60	52.37	61.65	69.12	73.76
売上総利益	24.07	28.21	36.21	41.47	44.26
売上総利益率(%)	32.7	35.0	37.0	37.5	37.5
営業利益	2.23	4.22	9.33	11.21	12.43
営業利益率(%)	3.0	5.2	9.5	10.1	10.5
営業外収益	2.18	1.82	1.50	1.00	1.00
営業外費用	(0.78)	(0.82)	(0.80)	(0.81)	(0.80)
経常利益	3.63	5.23	10.03	11.40	12.63
税引前当期純利益	5.02	5.79	10.03	11.40	12.63
法人税等	(0.92)	(1.28)	(2.21)	(2.62)	(3.03)
実効税率(%)	25.2	24.5	22.0	23.0	24.0
当期純利益	4.11	4.51	7.82	8.78	9.60
非支配株主に帰属する 四半期純利益	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.12	4.51	7.83	8.78	9.61

売上高前年比伸び率 (%)	+9.7	+9.4	+21.5	+13.0	+6.7
営業利益前年比伸び率 (%)	N/A	+89.4	+120.9	+20.1	+11.0
経常利益前年比伸び率 (%)	N/A	+44.2	+91.8	+13.7	+10.8
税引前当期純利益前年 比伸び率(%)	N/A	+141.4	+73.3	+13.7	+10.8
当期純利益前年比伸び 率(%)	N/A	+9.7	+73.5	+12.2	+9.4

貸借対照表 (10 億円)	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
現金及び預金	47.76	45.06	53.75	58.72	62.73
有価証券	-	4.00	4.00	4.00	4.00
売掛金	19.19	22.20	17.27	17.27	17.27
棚卸資産	31.62	33.39	32.05	32.05	32.05
その他	2.95	3.55	3.27	3.27	3.27
流動資産	101.52	108.21	110.34	115.30	119.31
有形固定資産合計	32.24	32.20	35.05	36.16	37.34
のれん	0.71	3.51	3.51	3.51	3.51
無形固定資産	1.51	1.97	2.44	2.44	2.44
投資有価証券	6.66	6.34	6.34	6.34	6.34
その他	2.36	3.47	3.47	3.47	3.47
固定資産合計	43.47	47.49	50.81	51.92	53.10
資産合計	144.99	155.69	161.15	167.22	172.41
短期借入金	13.33	11.68	12.33	12.33	12.33
買掛金	11.61	11.90	14.19	15.91	16.97
その他	9.49	14.17	14.01	15.71	16.76
流動負債合計	34.44	37.75	40.52	43.94	46.06
長期借入金	24.12	24.94	23.94	22.95	21.96
その他	2.00	2.42	2.42	2.42	2.42
固定負債	26.13	27.36	26.36	25.37	24.38
株主資本合計	84.38	90.52	94.21	97.85	101.91
非支配株主持分	0.05	0.07	0.06	0.07	0.06
純資産合計	84.43	90.59	94.27	97.91	101.98
負債純資産合計	144.99	155.69	161.15	167.22	172.41

出所: 会社データ、アストリス・アドバイザリー (推定)

キャッシュフロー計算書 (10 億円)	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
税引前当期純利益	5.02	5.79	10.03	11.40	12.63
減価償却費	3.71	3.67	4.89	5.53	5.90
その他の非現金項目	2.78	(0.56)	9.33	3.42	2.12
運転資金の増減	(0.48)	(0.10)	(0.29)	(0.20)	(0.24)
法人税等支払額	(1.07)	(1.64)	(2.21)	(2.62)	(3.03)
営業活動によるキャッシュフロー	9.97	7.15	21.76	17.53	17.38
設備投資	(3.13)	(2.29)	(7.24)	(5.53)	(5.90)
投資有価証券	(0.23)	(2.76)	(2.76)	(2.76)	(2.76)
その他の投資活動によるキャッ シュフロー	1.72	1.10	1.41	1.25	1.33
投資活動によるキャッシュフロー	(1.63)	(3.96)	(8.59)	(7.04)	(7.33)
配当金支払額	(1.47)	(1.47)	(1.47)	(1.77)	(1.82)
社債発行による収入 (償還によ る支出)	0.82	(0.99)	(0.99)	(0.99)	(0.99)
株式発行による収入 (自社株買 い)	(0.18)	-	(3.71)	(4.33)	(4.85)
その他	(0.21)	(0.02)	(0.02)	(0.02)	(0.02)
財務活動によるキャッシュフロー	(1.04)	(2.48)	(6.19)	(7.12)	(7.69)
為替影響	1.97	1.46	1.72	1.59	1.65
ネットキャッシュフロー	9.26	2.17	8.69	4.97	4.01
フリーキャッシュフロー (FCF)	6.84	4.86	14.52	12.00	11.48
EBITDA	4.73	6.68	14.22	16.74	18.34
EBITDA 利益率(%)	6.4	8.3	14.5	15.1	15.5
FCF マージン(%)	9.3	6.0	14.8	10.9	9.7
FCF コンバージョン(%)	136.2	83.9	144.7	105.3	90.9
設備投資/売上高(%)	4.2	2.8	7.4	5.0	5.0
設備投資/減価償却(%)	84.3	62.5	148.0	100.0	100.0
営業 CF マージン(%)	13.5	8.9	22.2	15.9	14.7

主要指標	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
収益性					
売上総利益率(%)	32.7	35.0	37.0	37.5	37.5
営業利益率(%)	3.0	5.2	9.5	10.1	10.5
当期純利益率(%)	5.6	5.6	8.0	7.9	8.1
ROA(%)	2.9	3.0	4.9	5.4	5.7
ROE(%)	5.1	5.2	8.5	9.1	9.6
ROCE(%)	2.0	3.6	7.7	9.1	9.8
ROIC(%)	1.4	2.6	5.6	6.5	7.0
流動性					
流動比率(倍)	2.9	2.9	2.7	2.6	2.6
クイック比率(倍)	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9
負債比率					
D/E レシオ(倍)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
ネット D/E レシオ(倍)	net	net	net	net	net
	cash	cash	cash	cash	cash
自己資本比率(倍)	58.2	58.1	58.5	58.5	59.1
インタレスト・カバレッジ・レ シオ(倍)	5.3	10.0	18.4	22.7	25.9
ネットデット/EBITDA (倍)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
バリュエーション					
EPS(公表値)(円)	81.06	89.19	154.69	173.54	189.79
PER(倍)	22.1	20.0	11.6	10.3	9.4
希薄化後 PER(倍)	26.4	24.0	13.8	12.3	11.3
DPS (円)	29.0	29.0	35.0	36.0	37.0
配当性向(%)	35.8	32.5	22.6	20.7	19.5
配当利回り(%)	1.6	1.6	2.0	2.0	2.1
株主総利回り(%)	1.6	1.6	5.7	6.4	7.0
FCF 利回り(%)	7.0	5.0	14.8	12.2	11.7
希薄化後 FCF 利回り(%)	5.8	4.1	12.4	10.2	9.8
PBR(倍)	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0
EV/売上高倍率(倍)	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7
EV/EBITDA 倍率(倍)	18.2	12.9	6.1	5.2	4.7
EV/EBIT 倍率(倍)	38.7	20.4	9.2	7.7	6.9
EV/FCF 倍率(倍)	12.6	17.8	5.9	7.2	7.5



免責事項

本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が作成したものです。本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が信頼できると考える公開情報源から入手した情報に基づいていますが、独自検証は行っていない、その正確性や完全性について保証、表明、保証をするものではありません。本レポートは、当該企業について述言及すべき全事項を記載したものではなく、また、記載を試みるものでもありません。ここに記載された意見は、本レポート作成時点におけるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社の判断を反映したものであり、予告なく変更される場合があります。本レポートに記載されている将来の見通しに関する情報または記述には、仮定、今後の業績予測、未確定な金額見積もりなどに基づく情報が含まれているため、既知および未知のリスク、不確実性および、このテーマに関する実際の結果、業績または成果が現在の予想とは大きく異なる可能性をもたらすその他要因が含まれています。

本レポートは概説として作成されたものであり、特定の金融商品または戦略を個人的に推奨するものではなく、また個人的な投資アドバイスを構成するものでもありません。

アナリストは、(i) 本レポートで表明する見解は、本レポートの対象である企業および証券に関する当該リサーチアナリストの個人的見解を正確に反映していること、(ii) 当該リサーチアナリストの報酬のいかなる部分も、直接的にも間接的にも当該リサーチアナリストが本レポートで述べた見解に過去、現在、未来を通して関連しないことをここに証明します。

本レポートは、日本法に基づき設立され、日本の金融庁の監督下にあるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社により作成されました。現地当局による規制範囲に関する詳細をご要望の場合は、弊社から入手可能です。

利益相反

本レポートは、当該企業が委託して費用を負担したものであり、MiFID II で定義される許容可能な軽微な非金銭的利益に該当すると判断されるものです。

読者は、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が、現在、もしくは今後 3 ヶ月以内およびその後に、当該企業に対して IR/コーポレート・アドバイザリーなどのサービスを提供する、または提供することを求める可能性があることを前提とする必要があります。

記載金融証券への投資：アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、取締役、役員、従業員およびサービスプロバイダーの個人的な取引について制限的な方針をとっています。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、投資業務を行っておらず、本レポート記載の金融証券は一切保有していません。

責任制限

アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートに基づき投資家が行った投資、売却、保有の決定に関して、いかなる責任も負わないものとします。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートの情報に起因する直接的、間接的、偶発的、特別、または結果的損害（予見可能か否かを問わず）に対して、一切の責任を負わないものとします。

Copyright 2026 Astris Advisory Japan K.K. All rights reserved.

全著作権所有無断転載禁